



# 高松地方気象台長挨拶



4月1日付けで高松地方気象台長に着任しました宮田 洋（みやた ひろし）です。  
どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

高松地方気象台は、平成29年11月に高松市伏石町から高松サンポート合同庁舎に移転しました。合同庁舎には、国の四国ブロック機関が多く入居しており、こうした環境をうまくいかして、関係機関とこれまでよりもより密接に連携して気象業務を推進して行きたいと考えております。

さて、ここ数年は、昨年の7月豪雨にみられるように毎年のように全国のどこかが大雨による大きな水害や土砂災害に見舞われています。自然災害は、決して他人ごとではありません。香川県では、台風による高潮のほか、四国沖の南海トラフ沿いを震源とする地震に対しての強い揺れや津波などへの備えも必要です。次は自分のところが襲われるかもしれない、という危機意識をもって常日頃から災害に備えておきたいものです。

高松地方気象台では、「いざっ!」というときに備えて、平常時から気象台から防災関係機関へのわかりやすく丁寧な気象解説の充実につとめるとともに、香川県や県内の市町、国の関係機関、地元報道機関との間で、担当者間の連絡だけでなく、管理職間においても可能な限り直接顔をあわせて、日頃からお互いの取組みについての情報や認識をしっかりと共有しておきたいと考えています。

香川県内における自然災害の人的・社会経済的被害を可能な限り軽減するため、みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成31年4月  
高松地方気象台長  
宮田 洋